

一般向け・参加費無料



みちのくの暦の世界 学術シンポジウム

[主催] 国立歴史民俗博物館 [後援] 青森公立大学

2026年11月3日 (火・祝) 14:00-17:30

[会場] ねぶたの家 ワ・ラッセ2階イベントホール (JR青森駅から徒歩1分)

[開催形式] 対面 [使用言語] 日本語 [対象] 一般 [参加費] 無料

[登壇者] 斎藤潔 (元八戸市史近世部会長)・小田島梨乃 (東京大学大学院)・下村育世 (青森公立大学)

小池淳一 (国立歴史民俗博物館) [コメンテーター] 林淳 (東洋大学)

ねぶたの家 ワ・ラッセ イベントホール

〒030-0803 青森県青森市安方1丁目1-1 2F

趣旨

暦はいまのカレンダーにあたるものです。青森をはじめとするみちのく（東北地方）は、地域ごとの個性ゆたかな暦が多くみられる、全国でも珍しいところです。

江戸時代、全国の暦は統一されましたが、実は地域の気候風土や信仰、暮らしのならわしなどにあわせて、それぞれの土地ならではの暦がつくられ、大切に使われていました。

このシンポジウムでは、そうした暦の歴史をふりかえり、ユニークな地方暦の特徴や、それを取りまく背景をさまざまな角度から探っていきます。こうした暦のすがたや歴史を見つめ直すことは、私たちの足元にある地域文化の過去と未来を考えることにもつながるでしょう。

プログラム



基調講演

14:05 斎藤潔「八戸の暦」

（元八戸市史近世部会長）

パネリスト

15:05 小田島梨乃「大小暦の世界」

（東京大学大学院博士課程）

15:35 下村育世「旧暦と新暦の使用」

（青森公立大学）

16:05 小池淳一「暦のかたち—絵暦とその背景」

（国立歴史民俗博物館）

コメンテーター

16:45 林淳（東洋大学）

17:00 総合討論

画像出典：〔表面〕明治6年暦（国立歴史民俗博物館蔵）、イラスト：佐藤勝郎『南部めくらもの之研究』盛岡不流舎、1946年。〔裏面〕①文政元年大小暦、②文久3年大小暦（国立国会図書館デジタルコレクション）。③明和9年大小暦（八戸市立図書館蔵）。④安政4年大小暦、⑤安政6年大小暦（国立国会図書館デジタルコレクション）。

本シンポジウムは、国立歴史民俗博物館基盤研究『近代暦知の総合的研究』の成果報告の一部として開催するものです。

デザイン：王潔琳（国立歴史民俗博物館RA）

1



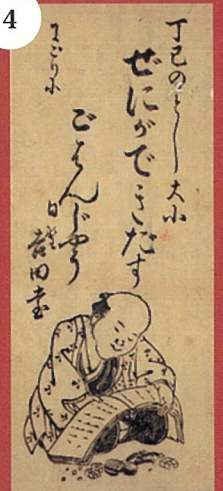
2



3



4



5

